

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

パブリックサービスR&C合同会社

②事業者情報

名称：太陽の子下戸田保育園	種別：保育所
代表者氏名：難波 洋子	定員(利用人数)：75名(90名)
所在地：〒335-0011 埼玉県戸田市下戸田2-19-18	TEL048-434-5665

③評価実施期間

平成28年7月7日（契約日）～平成29年3月26日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

○「太陽の子」保育園の理念に基づいて、子どもを受容する穏やかな保育を実践しています
 「太陽の子」保育園のコンセプト「つながり保育園」や保育理念「のびのび すくすく にこにこ」のほか、保育目標や育方針を明確に定めており、子どもの成長を「7つの窓」の視点で総合的に支援することや、「愛する」を中心に「見守る・楽しむ・待つ・信じる」という当園の保育姿勢についても分かりやすくまとめて全職員に周知しています。これらは、本社での研修や具体的なマニュアルを通して職員が学び、保育課程や年間・月間・週間の指導計画に展開して実践に移しており、評価・反省を繰り返して気付きを職員間で共有しています。職員は子どもに寄り添って丁寧に関わっており、声のかけ方も優しく心地良く、注意や否定ではない、その子にあった働きかけでの誘導も素晴らしいと感じました。職員の感情の穏やかさが伝わり、子ども達はとても落ち着いていて、安心して園生活を過ごしていました。

○職員間で連携して食育の工夫に取り組み、子ども達に食を大切にする気持ちを育てています
 保育士と栄養士が協働して年間食育計画を作成しており、子ども達が食への興味を深め、食する楽しさを味わうことができるよう工夫して食育に取り組んでいます。プランターでの野菜栽培を行って、野菜が大きく実っていく様子を観察して食材にしたり、会社系列の農場から届く野菜の皮剥きや下ごしらえを行ってクッキング活動につなげています。保育園のブログには、大きなトウモロコシの皮を剥いている子どもの様子や食材を活かした制作物等が掲載されており、ブログや保育参観を通して保護者にいきいきとした子どもの様子を伝えています。日々の食事は子どもの気持ちを汲み、保育士の意見も取り入れてメニューを検討しており、郷土食や行事食等も取り入れて、日本各地への興味を広げたり、季節感を感じる食事を楽しんでいます。こうした食育の取り組みが、食を大切にする子どもの思いを育てています。

◇特にコメントを要する点

○子どもが自ら主体的に遊び始める環境構成や設定の方法を追求していくことが期待されます
各クラスでは、子どもが主体的に活動できる自由遊びの時間を設け、年齢・発達に合った絵本や玩具を用意するようにしています。観察時には、子どもに何をしたいかを直接聞いて玩具の用意をしている場面も見られました。しかし、「子どもが好きな遊び、やってみようとする遊び、必要な遊びとは何なのか」を考察し、年齢やその子に添った玩具や遊びを実際の保育の場面で提供していく保育者の「見極める力」も必要となってきます。子どもが自ら遊びに入り込めるように環境構成を整え、自ら遊びのコーナーを選び、玩具・遊具を取り出して活動が始められるような環境を設定し、援助の仕方を工夫し続けていくことが期待されます。限られた保育室内であっても、これまでの決められた枠組みや慣習にとらわれることなく、想像力を発揮することができるよう、クラスや園を超えて研究し合う等、専門職としての思いと力を活かしていくことが期待されます。

○本社とのコミュニケーションを充実させ、特色のある保育園創りにつなげることが期待されます
本社での階層別・職種別・経験別等の毎月の研修やヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告の共有、系列園での英語や絵本の巡回システムの導入等、本社が主導し、会社の保育の理念や方針の浸透を図りながら、質の高い保育サービスの提供に取り組んでいます。しかしながら、経営・運営の方針や意図の説明が不足していたり、現場の意向を十分に汲み上げることができていないために、現場の職員との間に認識や意識の差が生じている様子も窺えました。本社と保育園の役割分担を見直したり、より密接につなぐ機能を構築する等してコミュニケーションを充実させるとともに、企業グループ内の他事業の機能や専門性を活かした取り組み（介護施設との交流や農場の新鮮な食材、掃除のノウハウ提供、社会体験の機会づくり等）をより積極的に園運営や子どもの活動に取り入れ、グループならではの一体感と特色のある保育園創りにつなげていくことが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

(第三者評価を終えて)

今回、第三者評価を受審したことで改めて見えてきたことや、学ぶことが多くありました。

今までの園長が築いてきた良い部分を引き継ぎ、更に保護者やスタッフと共に改善できるところを見直し、みんなで協力してより良い保育園にしていくための取り組みを行ってきました。
ヒヤリハット、インシデント・アクシデントの月の集計、報告ではスタッフ間で共通意識が持てるよう、その時期にあったテーマを決めて会議内で話し合いの場を設けました。内容によっては、改めて学ぶことや、再確認できたことも多くあり充実したものとなりました。

また、今まで実績のないボランティア受け入れや地域子育て支援等も今回のご指摘を受け、積極的に自園で出来る事を見つけ行って行けたらと思います。
今年度からスタートした絵本巡回、ふあんぱりん英語教室、おそうじチャレンジも2年目を迎えることで、より子ども達に浸透する新たな取り組み方法を子ども達の目線に立ち、子ども達が楽しく取り組めるようなものに近づけていけたらと思います。
保育理念にもある、保護者、地域、保育園が手を取り合い笑顔で見守る中、子どもたちが沢山の大好きに会い、こころとからだをすこやかに育ててゆけるよう、今回の評価を無駄にしないよう、スタッフみんなで頑張りたいと思います。
ありがとうございました。

太陽の子 下戸田保育園
難波 洋子

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり